



たんぽぽだより

令和6年10月号 No.111
 砂川市病児・病後児保育施設
 Tel 0125-54-2278

秋風が気持ちよく吹き、過ごしやすい季節になりました。

秋から冬にかけては気温や湿度が低下することでウイルスが活発に活動し、感染症にかかりやすくなります。特に子どもがかかりやすい感染症には、次のようなものがあります。インフルエンザ、RSウイルス感染症、ノロウイルス・ロタウイルスなどの感染性胃腸炎、溶連菌咽頭炎、マイコプラズマ肺炎。これらの感染症は、飛沫感染や接触感染で広がるため手洗いや咳エチケット、ワクチン接種などの予防が大切です。また、気温の変化に体がついていけず免疫が低下することで、感染症にかかりやすくなります。昼夜の気温差が大きいこの時期、健康面には十分注意しながら元気に過ごしていきましょう。



2歳未満は要注意！ RSウイルス感染症

秋から冬にかけて多くなる「RSウイルス感染症」。感染力が強く、2歳までにほぼ100%感染するとも言われます。年齢が低いほど重症化しやすく、呼吸困難になったり、気管支炎、細気管支炎、肺炎などの合併症を起こしたりすることもあるので「なぜかな」と感じたら、念のため病院へ行きましょう。

38~39℃
の高熱

セイセイとい呼吸音

激しいせき

鼻水

せきがひどいときは……

- 体を起こすか、縦抱きにして背中をさする
- 室温は上げすぎず、加湿する
- 水分を少しずつゆっくり飲ませる



小さな子どもは「見る力」も育ち盛り

赤ちゃんの目は、生後すぐはぼんやりとしか見えていませんが、その後、1歳までの時期は急速に「見る力」が発達します。3歳までには、多くの子どもが大人と同じ程度（視力1.0）まで見えるようになります。見る力（視覚）はゆるやかに発達し、6歳ごろには大人と同程度になります。

生まれてすぐ
視力 0.01



明るい、暗い程度しか認識できません。

1歳
視力 0.2



立体的に見る力、動くものを見る力など、視覚が急速に発達します。

3歳
視力 0.8~1.0



大人とほぼ同じくらいまで視覚が育ってきます。

5歳
視力 1.0



ほとんどの子どもが、大人と同じ視覚を身につけます。

早く治療するほど回復しやすい！

こんなサインに注意



頭を傾げる



目を細める



横目で見る



片目をつぶって見る



片方の目の焦点が合わない

正面から「見る様子」をチェックして

見え方のチェックにおすすめるのが、紙しばい。左右の目の焦点、ものを見る様子が詳しくわかります。

